

様式第 1 号（第 4 条関係）

罹災証明交付申請書

宇美町長 様

※ 太線枠内を記入してください。

年 月 日

申請者 (窓口に来られた方)	住 所 電話 ()	
	ふりがな 氏 名	罹災者との関係 ☐ 本人 ☐ 同居の親族 ☐ その他 ※ その他の場合は委任状が必要
この証明書の用途	被災者支援制度の手続のため、()に提出 税控除・保険請求・その他 ()	

罹災証明書の交付について、次のとおり申請します。

☐ ※自己判定方式（写真による判定）を希望します。

罹災者 (申請者と同じ場合は記載不要)	住 所 ふりがな 氏 名 電話 ()					
罹災世帯 の構成員	氏 名	続 柄	年齢	氏 名	続 柄	年齢
		世帯主				
罹災した家屋 の所在地など	(申請者の住所と同じ場合は記載不要) 福岡県糟屋郡宇美町 ☐ 住家 ☐ 非住家(☐ 持家 ☐ 貸家 ☐ 借家(所有者))					
罹災日時	年 月 日 () 午前・午後 時頃					
罹災原因	☐ 台 風 ☐ 暴 風 ☐ 豪 雨 ☐ 崖 崩 れ ☐ 地 震 ☐ そ の 他 ()					
罹災状況						
添付書類	☐ 被害状況の写真（自己判定方式を希望する場合） ☐ 被害場所の見取図 ☐ 被害場所の位置図 ☐ その他 ()					

※自己判定方式とは、現地の実地調査を省略し、持参していただいた写真等で被害判定を行うことです。

なお、自己判定方式が行えるのは罹災の程度が「一部損壊」の場合に限ります。

調 査 結 果	被害の程度	☐ 全壊	☐ 大規模半壊	☐ 半壊	☐ 準半壊
		☐ 準半壊に至らない（一部損害）		☐ 流失	☐ 床上浸水
		☐ 床下浸水		☐ その他 ()	

罹災証明書について

- この証明書は、民事上の権利義務関係に効力を有するものではありません。
- 記入上の留意点は、裏面をご参照ください。

記入上の留意点

- 1 罹災証明書は、災害により被害を受けた家屋（専用住宅、併用住宅）について「被害の程度」を証明する書面です。
- 2 申請者は、申請時に本人であることが確認できるものを提示してください。
- 3 「この証明書の用途」欄には、罹災証明書を使用する目的（公的支援、税の減免等）を記入してください。
- 4 「証明書」は原則として一世帯に一枚の発行となりますので大切に保管してください。複数必要な場合は、申請者にてコピーして使用してください。
- 5 代理人が申請する場合は、委任状を提出し、申請時に代理人本人であることが確認できるものを提示してください。ただし、代理人が申請者の同居の親族である場合は、委任状は不要です。
- 6 「罹災場所」欄には、被害のあった建物の住所（登記の地番ではありません。）を記入してください。また、アパートなどの建物名称等も記入してください。
- 7 「罹災した家屋の所在地など」欄には、該当する項目にレ点を記入ください。
- 8 「罹災日時」・「罹災原因」欄には、日時の記入および該当する項目にレ点を記入ください。
- 9 「罹災状況」欄には、罹災した内容をできる限り詳細かつ具体的に記入してください。
例1 「大雨による増水で〇〇丁目一帯が浸水し、床上〇〇cm浸水した。」
例2 「地震により住宅の1階部分がつぶれて使用不能になった。」
例3 「〇〇年〇〇月〇〇日の台風第〇〇号により屋根の破損」
なお、住家の場合には、母屋を中心に記入してください。